

果樹類（殺虫剤）

指針採用農薬一覧表

病害虫名 農薬名(商品名)	ハマキムシ類	ケムシ類	シヤクトリムシ類	ハダニ類	アブラムシ類	カミキリムシ類	シンクイムシ類	コスカシバ
アカリタッチ乳剤				●				
エスマルクDF	●	●	●					
オレート液剤					●			
クオークフロアブル	●							
コンフューザーMM	●						●	
コンフューザーN	●						●	
スカシバコンL								●
スパイカルEX				●				
スパイカルプラス				●				
スパイデックス				●				
ゼンターリ顆粒水和剤	●							
デルフィン顆粒水和剤	●	●						
トアロー水和剤CT	●							
バイオマックスDF	●	●	●					
バイオリサ・カミキリ						●		
ハマキコン-N	●							
ファイブスター顆粒水和剤	●	●						

(1) ハマキムシ類
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
11A	エスマルクDF	B T水和剤	2,000～3,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	りんご除く(りんごは2,000～3,000倍)
11A	クオークフロアブル	B T水和剤	400倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	
11A	ゼンターリ顆粒水和剤	B T水和剤	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	
11A	デルフィン顆粒水和剤	B T水和剤	2,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	
11A	トアロー水和剤CT	B T水和剤	500～1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	りんご除く(りんごも500～1,000倍)
11A	バイオマックスDF	B T水和剤	2,000～3,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	(りんごも2,000～3,000倍)
11A	ファイブスター顆粒水和剤	B T水和剤	2,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	
	コンフューザーMM	オリフルア・トートリルア・ ピーチフルア・ピリマルア剤	チャノココクモンハマキ: 120本/10a(55g/100本製剤) リンゴココクモンハマキ: 100～120本/10a(55g/100本製剤)	成虫発生初期～終期	—	普	ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。 登録は、チャノココクモンハマキ、リンゴココクモンハマキ
	コンフューザーN	オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤	150～200本/10a (52g/200本製剤)	成虫発生初期～終期	—	普	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。 登録は、チャノココクモンハマキ、チャハマキ、 リンゴココクモンハマキ、リンゴモンハマキ
	ハマキコンーN	トートリルア剤	100～150本/10a (54g/150本製剤)	成虫発生初期～終期	—	普	本剤を枝にかける。 登録は、チャノココクモンハマキ、チャハマキ、ミダレカクモンハマキ、 リンゴココクモンハマキ、リンゴモンハマキ

(2) ケムシ類
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
11A	エスマルクDF	B T水和剤	2,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	りんご除く(りんごは2,000～3,000倍)
11A	デルフィン顆粒水和剤	B T水和剤	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	
11A	バイオマックスDF	B T水和剤	2,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	りんご除く(りんごは2,000～3,000倍)
11A	ファイブスター顆粒水和剤	B T水和剤	1,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	

(3) シャクトリムシ類
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
11A	エスマルクDF	B T水和剤	2,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	りんご除く(りんごは2,000～4,000倍)
11A	バイオマックスDF	B T水和剤	2,000倍	発生初期 (但し、収穫前日まで)	—	—	りんご除く(りんごは2,000～4,000倍)

(4) ハダニ類
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
	アカリタッチ乳剤	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル乳剤	1,000～2,000倍	収穫前日	—	普	おうとう、りんご除く（おうとう、りんごは1,000～3,000倍）
	スパイカルEX	ミヤコカブリダニ剤	2.4～12ミリリットル／樹 (約48～240頭)	発生初期	—	—	放飼
	スパイカルプラス	ミヤコカブリダニ剤	1～40パック／樹（約50～2000頭）	発生初期	—	—	放飼
	スパイデックス	チリカブリダニ剤	100～300ミリリットル／10a (約2,000～6,000頭)	発生初期	—	—	登録は果樹類（施設栽培） 放飼

(薬剤使用上の注意事項)

①カブリダニ剤は、生存日数が短いので入手後直ちに放飼し、使い切ることが望ましい。また、本剤使用前後の薬剤散布は避ける。

(5) アブラムシ類
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
	オレート液剤	オレイン酸ナトリウム液剤	100倍	発生初期～収穫前日	—	普	果樹類（なしを除く）なしは100～200倍

(6) カミキリムシ類
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
	バイオリサ・カミキリ	ポーベリア ブロンニアアティ剤	1樹当たり1本	成虫発生初期	—	—	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける

(薬剤使用上の注意事項)

①ポーベリア・ブロンニアアティ剤は、直射日光にさらされると殺虫効果が低下するので、できるだけ直射日光が当たらないところに架ける。

(7) シンクイムシ類
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
	コンフューザーMM	オリフルア・トートリルア・ ピーチフルア・ピリマルア剤	100～120本/10a (55g/100本製剤)	成虫発生初期～終期	—	普	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。 登録は、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ
	コンフューザーN	オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤	モモシンクイガ： 150～200本/10a (52g/200本製剤) ナシヒメシンクイ： 50～200本/10a (52g/200本製剤)	成虫発生初期～終期	—	普	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。 登録は、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ

(8) コスカシバ
(生態と防除のねらい)

①各作物の該当項目参照のこと。

IRAC	農薬名		濃度・量	使用時期	使用回数	毒性	備考
	商品名	一般名					
	スカシバコンL	シナンセルア剤	40～100本/10a (8g/100本製剤)	成虫発生初期～終期	—	普	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け設置する。